

建 企 第 83 号  
平成20年(2008)10月24日

国土交通省 道路局

局長 金井 道夫 様

出雲市長 西尾 理 弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日付け国建企第37号で依頼のありました標記のことについて、別添のとおり意見等を提出いたします。

# 今後の道路行政についての

## 意見・提案

島根県出雲市

東京への人口、経済の一極集中や高速自動車国道をはじめとする広域幹線道路の整備の遅れなどにより、日本海沿岸地域が空洞化しています。しかし、この地域は、韓国、中国といった日本海対岸諸国との文化、経済など各分野での交流が活発化するにつれ、環日本海交流の窓口としてその重要性は増しており、21世紀日本の発展を展望したとき、日本海国土軸の早期形成が最重要課題であります。

特に、立ち遅れている山陰地方（※P2図参照）において、高速自動車国道を核とした道路ネットワークを早期に確立することにより、地域の担税力を上げていくことが、国全体の活力増進に繋がるものと確信しております。

については、国土軸形成の基盤となる道路整備等が5年で達成されるよう、次の事項について強く要望いたします。

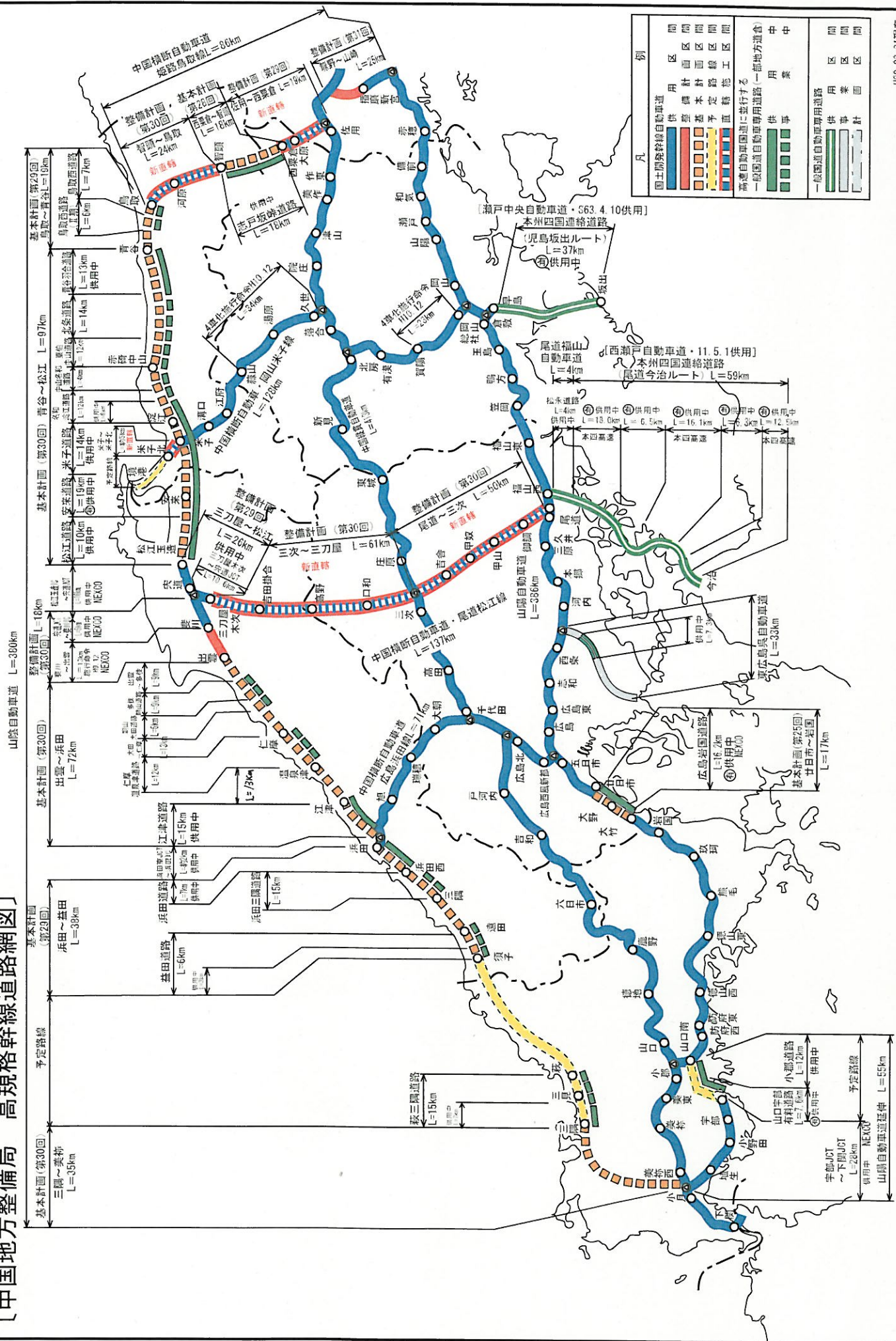
## 1. 未整備地域の高速自動車国道の早期実現

高規格幹線道路ネットワークの早期整備は、地方分権改革推進委員会が示す「地方が主役の国づくり」及び道州制の実現に向け、立ち遅れる地域の経済、財政基盤の強化を図り自立を促すための、まさに国家戦略として取組むべき、21世紀日本の生命線です。

また、近年多発する地震や集中豪雨等の自然災害から、国民の生命・財産を守り安全で安心できる生活基盤を確保するため、高規格幹線道路ネットワークを整備新幹線に優先して、急速かつ果断に進めるべきです。

については、21世紀日本の生存発展に不可欠な国家戦略として、新たな道路整備計画に未整備地域の高速自動車国道を位置付け、道路特定財源の一般財源化にあつては、これまでのような全国均等型の財源配分ではなく、未整備地域への重点的傾斜配分の断行を要望します。

## 〔中国地方整備局 高規格幹線道路網図〕





## 2. 地域間を結ぶ広域幹線ネットワークの早期形成

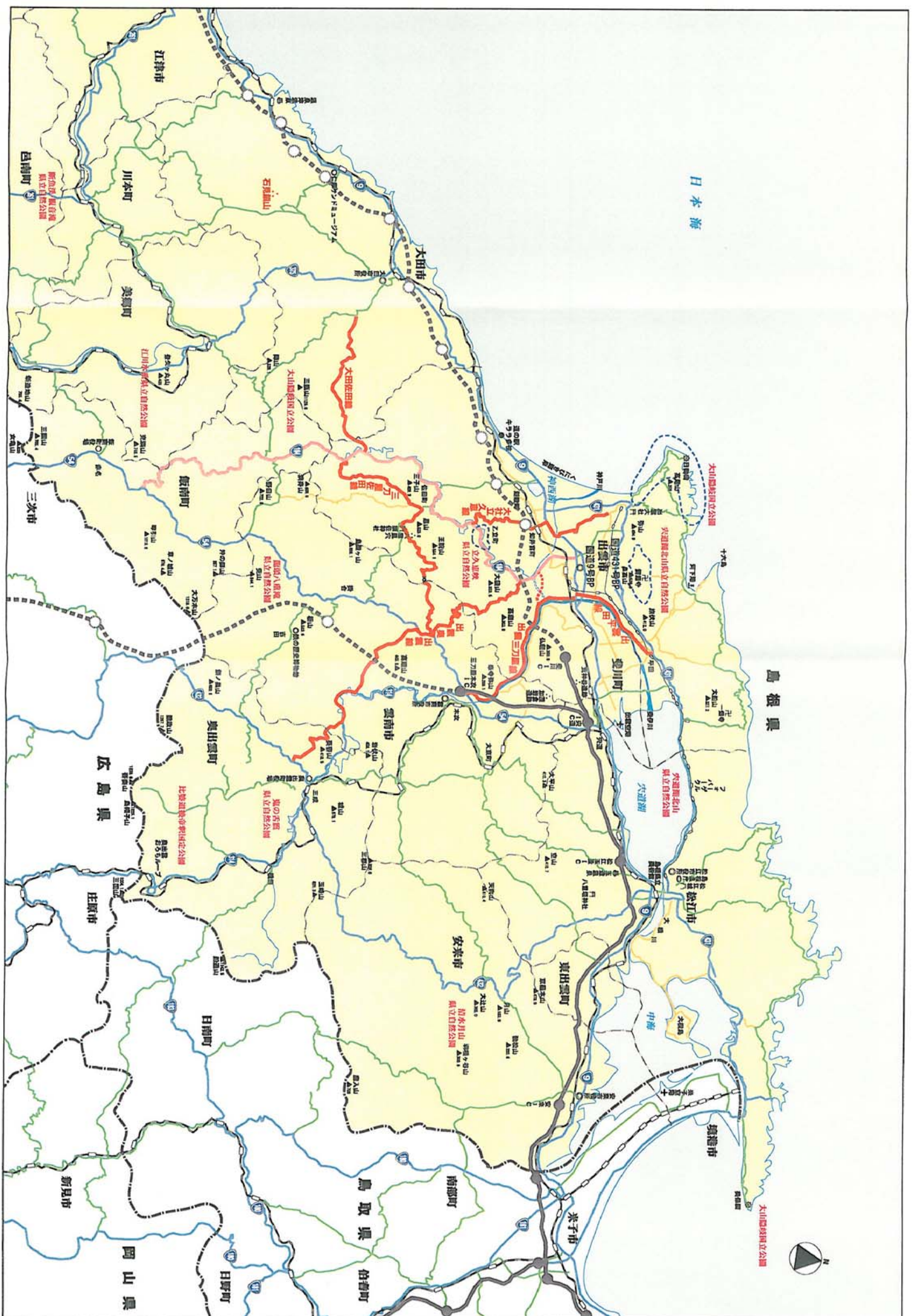
公共交通機関が極めて脆弱な地域にとって、道路は、経済、産業、文化、教育、福祉医療等あらゆる社会・経済活動の基盤です。本市においても、市町村合併により拡大した地域間や隣接する市町村を結ぶ幹線道路の整備は、高齢化、少子化の進む中で地域の自立的発展や地域間交流の促進を図り、安全で安心な活力ある地域づくり実現に不可欠です。

この観点から、本市では、市内を通過する次の路線について、沿線自治体やその他の関係自治体、商工団体などとともに期成同盟会等を組織し、早期の改良整備を国や県へ要望してきてきたところです。

| 路線名         | 同盟会名                        | 具体的要望点                                                             |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 国道 431 号    | 出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会        | ・国道 431 号の歩道整備及び交差点改良並びに整備区間の事業促進及び早急なルート決定                        |
| 国道 184 号    | 国道 184 号（出雲・飯南間）改良整備促進期成同盟会 | ・出雲市乙立町から飯南町間の未改良区間の早期改良整備<br>・出雲市朝山町地内「宇比多岐峠」の改良及び歩道の整備           |
| 主要地方道出雲三刀屋線 | 主要地方道出雲三刀屋線改良整備促進期成同盟会      | ・山陰自動車道及び尾道松江線へのアクセス道路として、出雲市大津町から雲南市三刀屋町下熊谷間 16 km の一体的改良整備       |
| 主要地方道出雲奥出雲線 | 主要地方道出雲奥出雲線改良促進期成同盟会        | ・大型車の往來の激しい出雲市坂から国道 54 号間の早期改良整備                                   |
| 主要地方道大田佐田線  | 大田三刀屋間県道改良整備促進期成同盟会         | ・石見銀山と近隣の歴史的観光地を結ぶ幹線道路ネットワーク形成等を図るため大田市山口から出雲市佐田町間 17.5 km の早期改良整備 |
| 一般県道三刀屋佐田線  |                             |                                                                    |
| 一般県道大社立久恵線  | 一般県道大社立久恵線改良整備促進期成同盟会       | ・出雲市乙立町から出雲市知井宮町間の改良事業着手                                           |
| 一般県道出雲平田線   | 県道出雲平田線改良整備推進協議会            | ・国道 9 号バイパスから主要地方道斐川出雲大社線間の改良整備<br>・斐伊川堤防管理道を利用した交互一方通行            |

(※各路線の位置は、P4 図を参照)

については、上記のように遅れている地方の道路網整備を強力に推進するため、また、今後負担が大きくなると想定される地域生活に密着した道路等の改良・維持補修が安定的に実施できるよう地方道路整備臨時交付金制度を継続・拡充し、地方の財政負担を軽減されることを要望します。



日本海

大田湾





### 3. 住民生活等の利便性と都市の魅力向上に資する街路整備の促進

地方都市の自主自立したまちづくりには、中心市街地の充実が不可欠であります。地方都市では、自動車交通が移動の中心であることから、住民やビジネスを営む者の利便性を一層向上させるとともに、拠点都市に相応しい景観の形成や密集する市街地の防災対策、歩行者・自転車通行の安全確保など魅力ある都市機能の充実を図る街路整備（土地区画整理を含む）が必要です。

そこで、厳しい財政状況にある地方公共団体においても、持続的に街路整備が可能となる重点的な予算の配分及び補助率（交付率）の改善を要望します。

元町中の島線（平田地域）

幅員が狭小で歩道もない状態である。



大津中央一の谷線

鉄道（JR山陰本線）と立体交差しているが交差部分が歩道もない状態である。



大曲来原線

踏切部分の幅員が狭小でまた交差道路もある。



医大前新町線

島根大学医学部と中心市街地を結ぶ道路であるが、現道は普通車のすれ違いも困難な状態である。

#### 4. 観光地における街路整備の促進とそれに伴う賑わい創出のための新規施策の創設

本市には、多くの歴史、文化、自然資源が存在し、毎年多くの観光客を迎えています。これらの観光資源を最大限に生かす街路整備と、それに伴い賑わいを創出するまちづくりの新規施策の創設を要望します。

#### 5. 地域の住民生活の視点に立った事業評価の実施

多くの地方都市が、少子高齢化や若年層を中心とする県外流出による人口の減少という大きな問題を抱えています。この状況を踏まえ、事業評価は、交通需要や受益者数による単なる費用便益だけでなく、防災、救急・救命、観光や産業における地域の活性化への貢献など、地域の実情にあわせた視点で事業評価を実施されることを要望します。



○現状

1. 分断状態にある高速道路

本市内には、現時点で供用されている高速道路が存在しません。来年度中には出雲 IC(仮称)が完成し、やとと本市以東とつながり、岡山、関西との高速道路ネットワークが出来上がる予定です。しかし、本市以西は、江津、浜田と広島につながる浜田自動車道が整備されているものの、本市との間は事業中若しくは約35kmにも及ぶ未着手区間（※P8図参照）であり、分断している状況です。

そのため、本市西部の多伎町では、H18年7月の大水害で唯一の東西幹線道路である国道9号の法面が崩落し、全面通行止めにより、東西交通が分断され、救急車両や輸送トラックなどが通行できず、大きく迂回せざるを得ませんでした。

■大田市 → 出雲市(中心市街地)

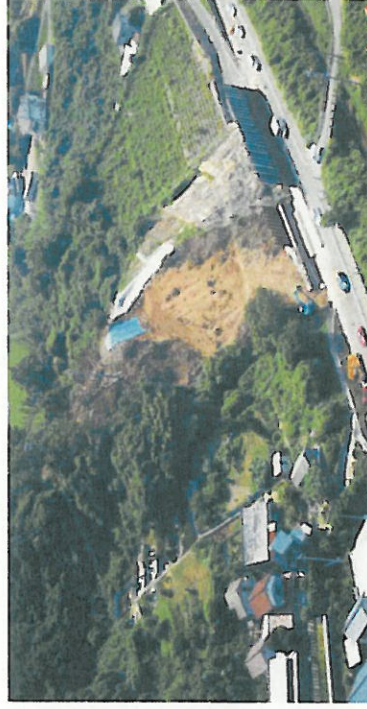
|           | 距離       | 所要時間    |
|-----------|----------|---------|
| 通常時       | 約 35 km  | 約 45 分  |
| H18年7月水害時 | 約 105 km | 約 135 分 |

※迂回ルートは、P9図のとおり

○課題

1. 本市の産業振興の軸となる高速道路が未整備なことから、県内外、特に本市以西との交流促進に制約ができています。

また、災害発生時には、代替路線が存在しない箇所があり、これらの解消が課題となっています。

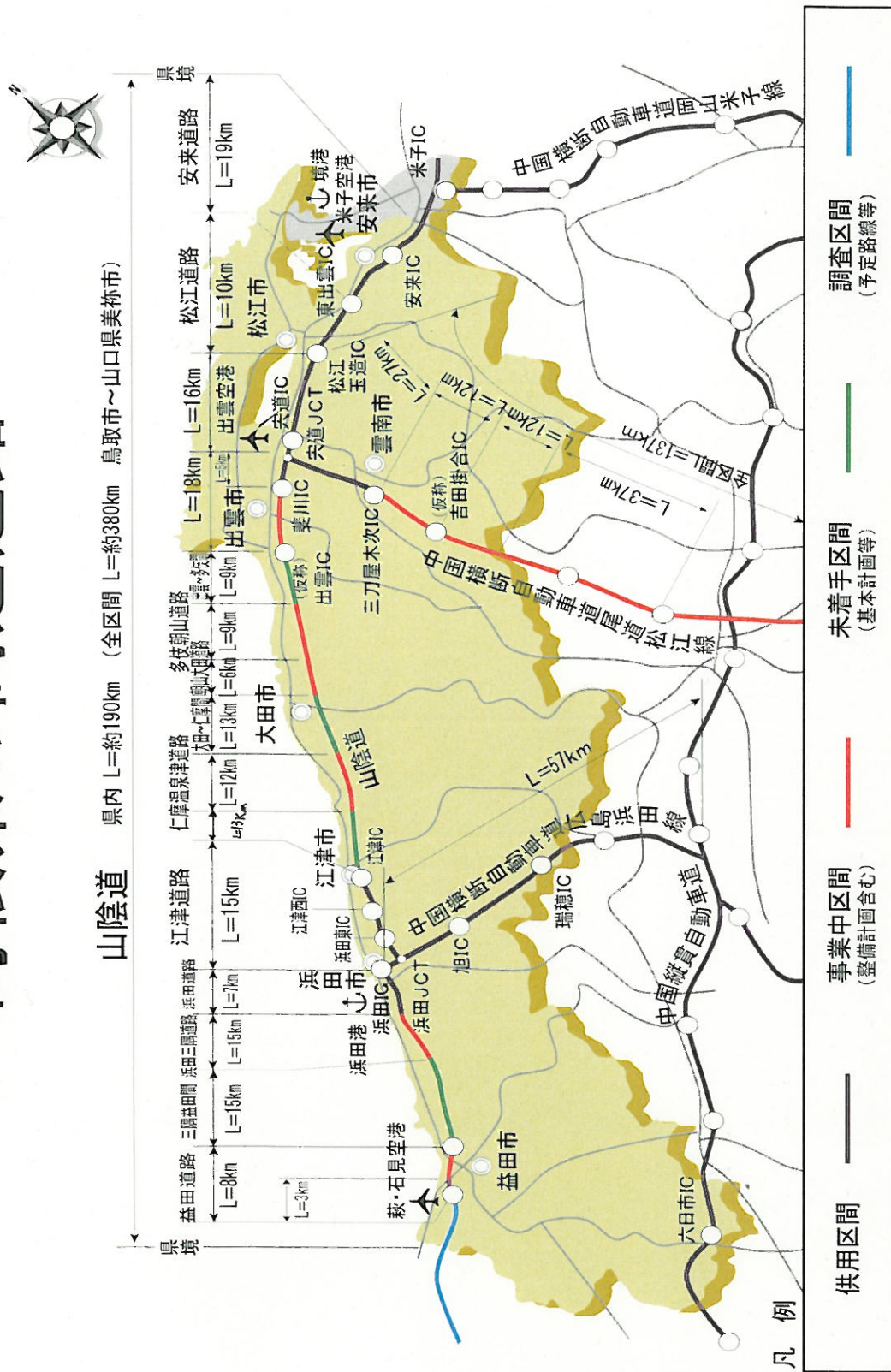


【多伎町地内9号線法面崩落状況】



※高度医療機関を抱える本市へは、大田市、江津市など本市以西の市町村から、たくさんの方の救急搬送があります。

# 島根県の高速度路





凡例

— H18.7豪雨災害時迂回路





|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>2. 便利と代金の不均衡</b></p> <p>県内の自動車専用道路には、片側2車線で無料の区間（一般国道整備区間）と1車線にもかかわらず有料の区間（高速自動車国道、一般有料道路整備区間）が混在しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>2. 高速道路整備の立ち遅れに起因する整備手法の混在が、このような便利と代金の不均衡をもたらし、また、未だ未整備区間が存在し連結していないことと相まって、高速自動車道の利用促進を阻害しています。</p>                                  |
| <p><b>3. 観光の現状</b></p> <p>本市は、県内で最も多くの観光客が訪れる出雲大社をはじめ、日御碕、一畑薬師、須佐神社など県内有数の観光資源が多数存在します。（※P11図参照）。また、本市は、県都松江市と石見銀山を抱える大田市に隣接し、県東部の観光エリアの中心に位置しています。</p> <p>しかし、本市のみならず近隣市町に多くの観光資源を有しながら、互いを結ぶアクセス道路の整備が不十分で、観光資源間の移動時間が長いことが、観光客の行動範囲を狭めています。</p> <p>県内に訪れる全観光客の移動手段は、約7割が自家用車利用であり、比較的近い近畿、四国、九州からの観光客にあっても自家用車の利用割合が約6割となっています。</p> <p>（※出雲市への観光客の特性及び島根県の観光の現状は、P12～16を参照）</p> | <p>3. 観光地への交通アクセスを改善し、確立した広域観光ルートのおかげで、市内にあるより多くの観光地を訪れてもらい、市内滞在時間の増大による経済波及効果をいかに得るかが課題となっています。</p> <p>（※現在の出雲市観光の経済波及効果試算は、P17のとおり）</p> |

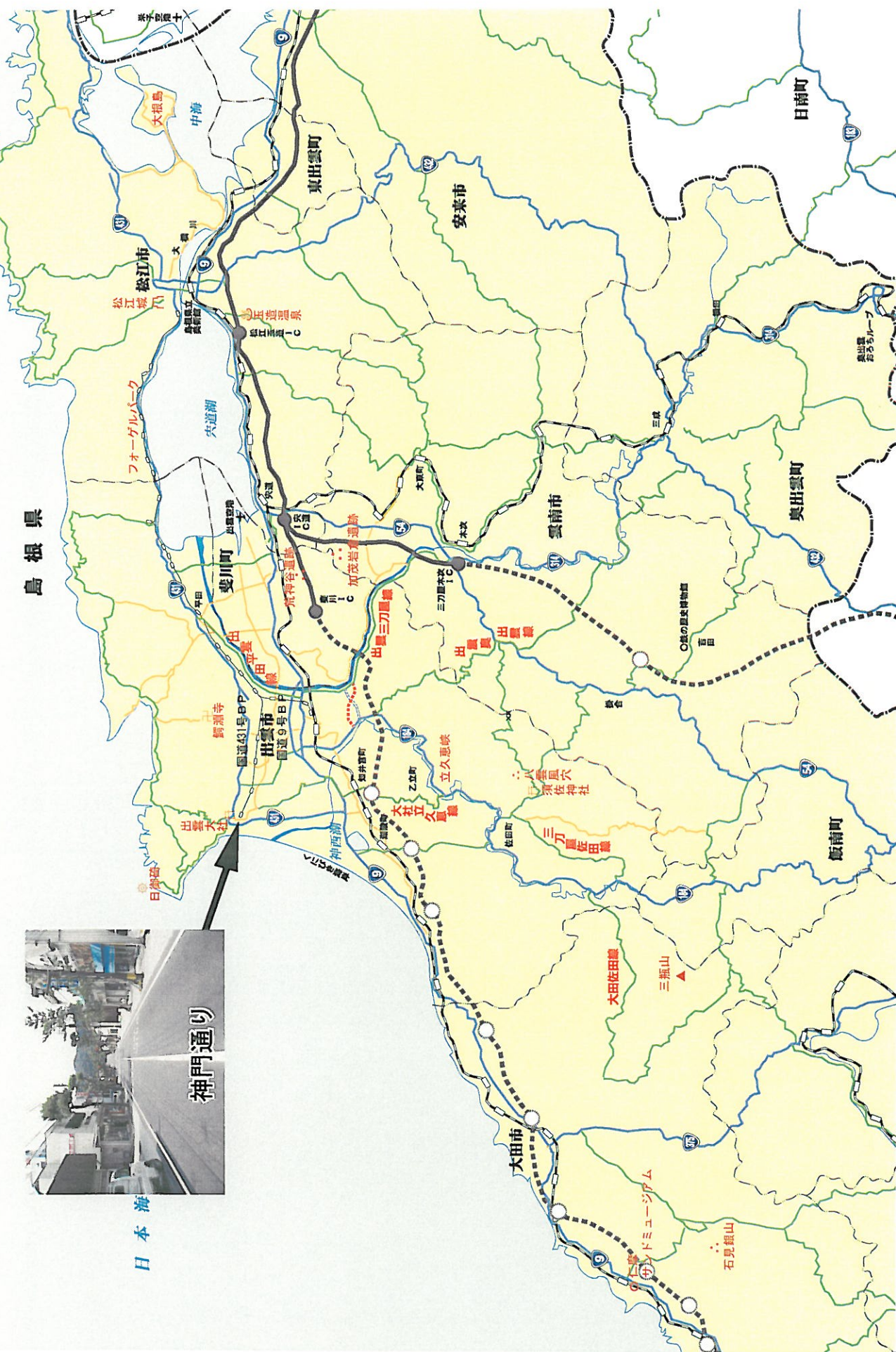


# 島根県



日本海

神門通り





## ■出雲市への観光客の特性

「出雲市の産業振興政策立案にかかる調査（独立行政法人中小企業基盤整備機構）」において実施された観光客向けアンケートにみられる、観光客の特性は以下のとおりです。

### ①アンケートの概要

- ・調査対象：出雲市内を訪れた観光客（何らかの観光行動を行った旅行者）
- ・調査方法：現地（下記参照）での聞き取り調査
- ・調査実施場所と回収数：出雲大社（101件）、島根ワイナリー（100件）、  
出雲空港（90件）、キララ多伎（89件） 計 380件
- ・調査実施日時：島根ワイナリー、出雲空港、キララ多伎…H18/11/18, 19  
出雲大社…H18/12/2

### ②来訪者の特性

- ・男女比はほぼ半々、各年代に分散。20代未満で女性の割合が高い（81%）。
- ・大部分が県外からの来訪。関東、近畿、広島が多い。
- ・旅行形態は「個人・グループでの観光旅行」が全体の70%を占める。
- ・同行者は、家族および友人づれが半数。同行人数は2人または5人以上。
- ・全体の75%が宿泊客。宿泊日数は1泊が73%。出雲市内の宿泊割合は3割弱。
- ・出雲市以外の宿泊先は、松江市内と玉造温泉。
- ・出雲市内に目的を持って来訪する割合は約6割。その具体的な目的は「出雲大社・神話・参拝」が多い。
- ・出雲市外の立ち寄り先は、「松江市内・玉造」。松江・出雲観光はセット。
- ・出雲大社へは、84%と大部分の人が立ち寄り。
- ・出雲市内での立ち寄り先は平均2カ所。出雲大社+島根ワイナリーが6割強。
- ・滞在時間は、3時間未満と3～6時間がそれぞれ30%。
- ・交通手段は、来訪及び城内周遊ともに自家用車が6割弱と最も多い。
- ・来訪回数は、「初めて」32%、「2～4回」が34%。
- ・1人あたりの観光消費額：日帰り客4,123円、市内宿泊客21,522円

# 1. 島根県の観光の現状

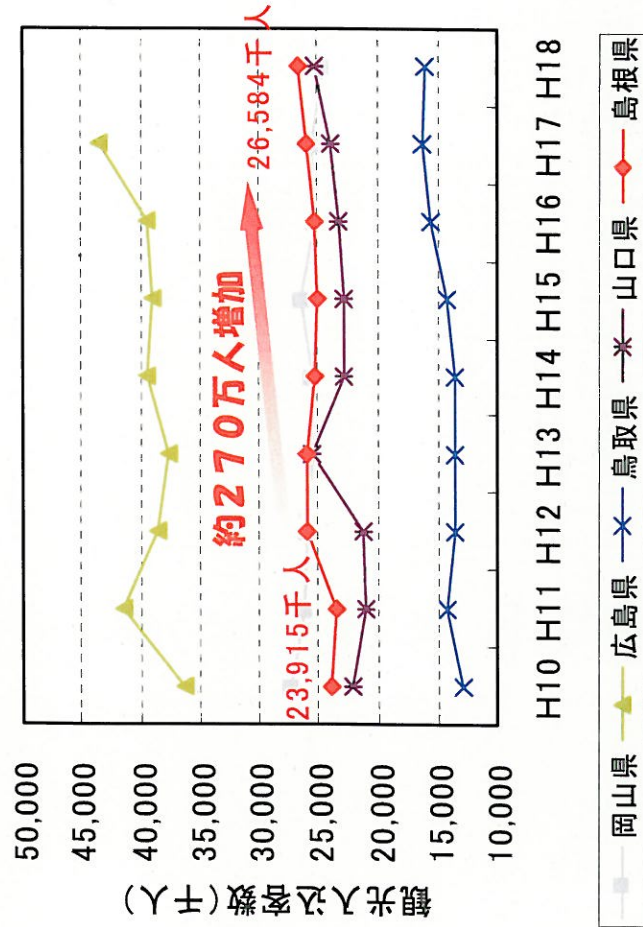
島根広域観光における  
基盤整備のあり方検討委員会

## (2) 観光客の推移①

**島根県は、H10年と比較して約270万人増加しており、県外からの観光客の割合が多い。**

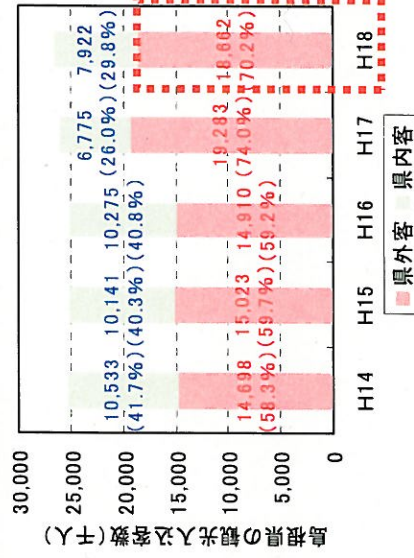
- ①中国地方では、観光客が増加傾向であり、島根県では、平成10年と比較して約270万人増加している。
- ②島根県では、県外からの観光客の割合が近年、増加しており、平成18年では約7割となっている。
- ③その内訳を見ると、中国4県とその他の地域とで半数ずつである。その他の地域では、近畿が最も多く、次いで関東が多い。

①中国地方の県別観光入込客数の推移

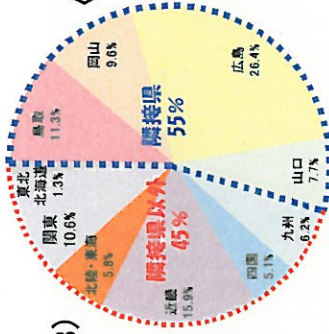


<資料：各県の観光動態調査>

②島根県観光客の県内・外の割合の推移



③県外観光客の  
都道府県割合(H18)



<資料：島根県観光動態調査 (H14～H18)>



# 1, 島根県の観光の現状

島根広域観光における  
基盤整備のあり方検討委員会

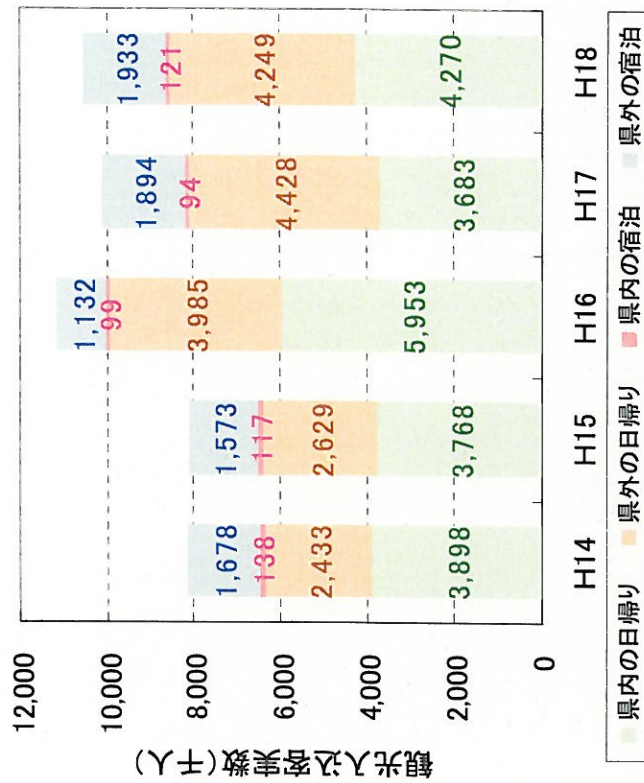
## (2)観光客の推移②

**島根県は、近年観光客数が増加しているが、一人あたりの消費額は概ね横ばいである。**

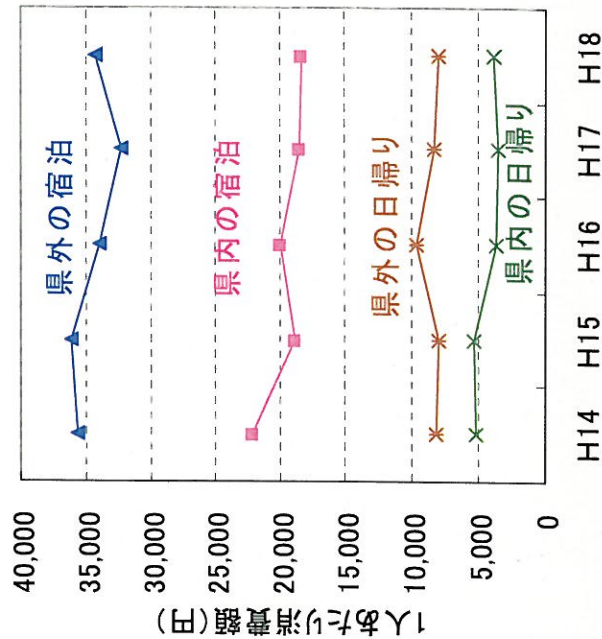
①観光客数は、県内・外、日帰り・宿泊別にそれぞれ増減はあるものの、全体として増加傾向にある。

②県外・県内の観光客一人あたりの消費額は概ね横ばいで推移している。

①島根県の観光客(実数)の推移



②観光客一人あたりの消費額



<資料：島根県観光動態調査 (H14～H18)>



# 1, 島根県の観光の現状

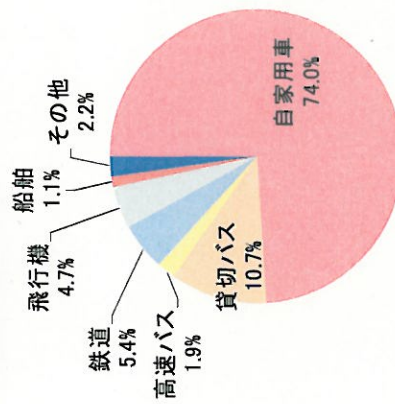
島根広域観光における  
基盤整備のあり方検討委員会

## (3)観光客の移動手段①

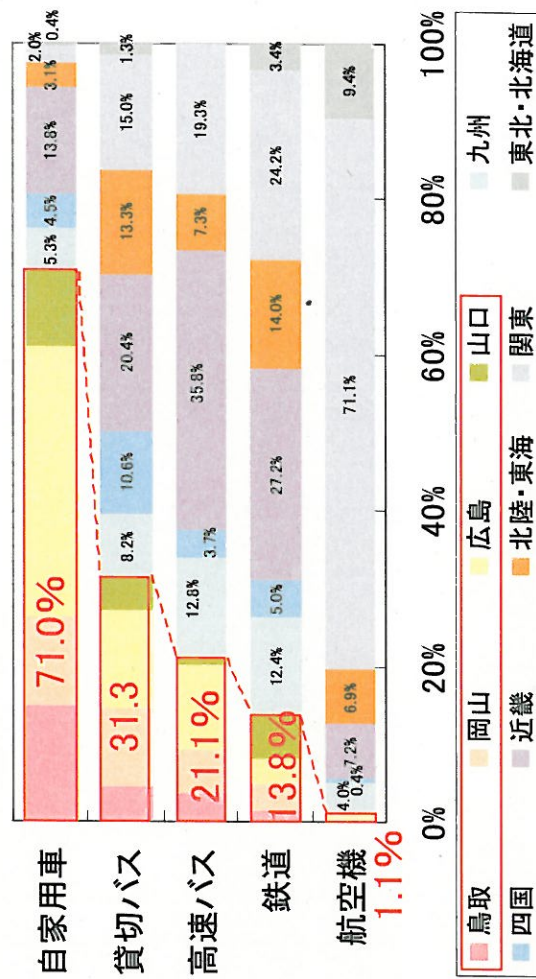
### 島根県への観光客は、自家用車での移動が最も多い。

- ①観光における移動手段では、自家用車が最も多く、全体の約7割を占めている。特に、日帰り客では約9割が自家用車で移動している。
- ②地域別の移動手段を見ると、自家用車は中国地方が7割を占めている。またバス、航空機は中国地方以外が多く、特に航空機は関東が7割を占める。

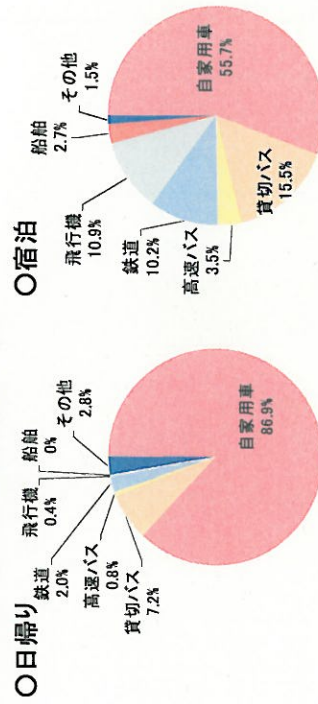
#### ①全観光客の移動手段



#### ②移動手段別の地域別(県外)割合



#### 参考)日帰り客、宿泊客の移動手段



<資料：島根県観光動態調査(H18)>



# 1. 島根県の観光の現状

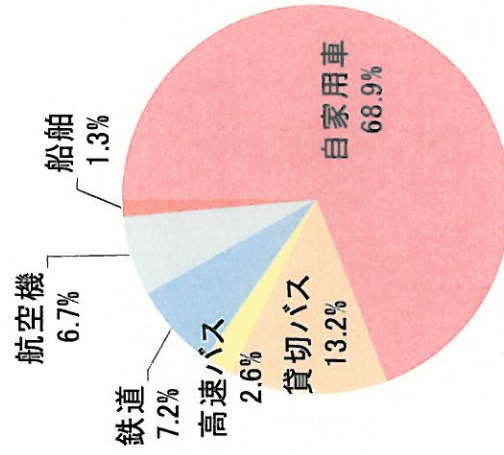
島根広域観光における  
基盤整備のあり方検討委員会

## (3) 観光客の移動手段②

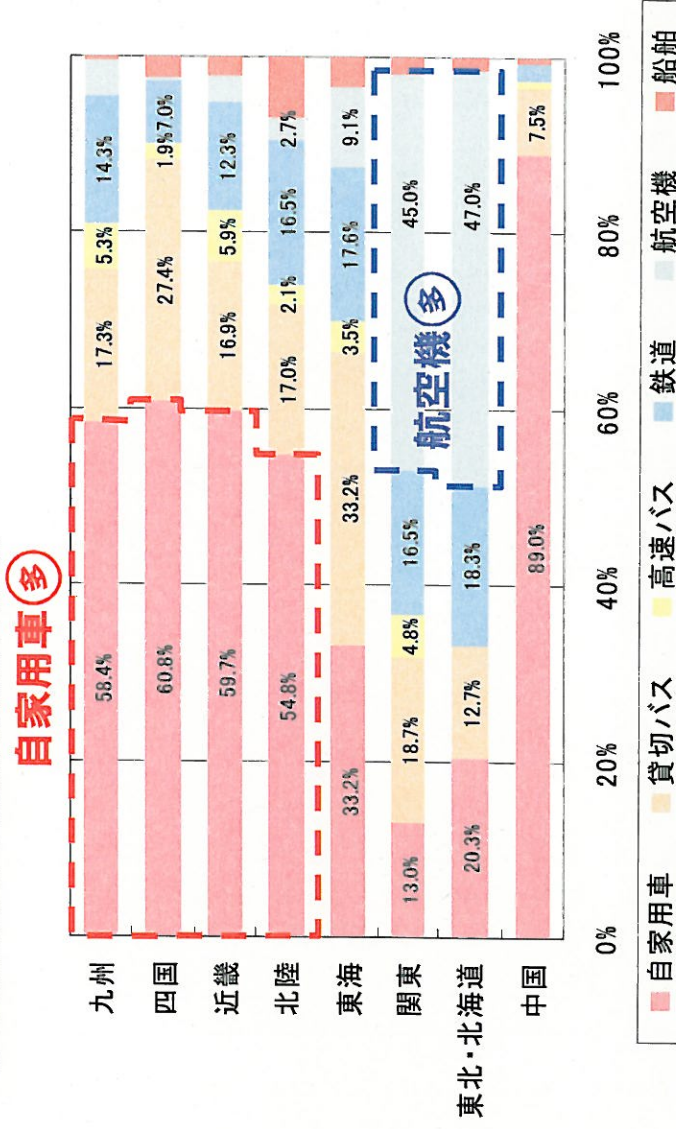
**島根県への観光客は、近隣からは自家用車で、遠方からは航空機での移動が多い。**

- ①県外観光客の移動手段は、自家用車が最も多く、全体の約7割を占めている。
- ②地域別に見ると、九州、四国、近畿、北陸では自家用車の利用割合が多く、関東、東北・北海道では航空機の利用割合が多くなる。

①県外観光客の移動手段



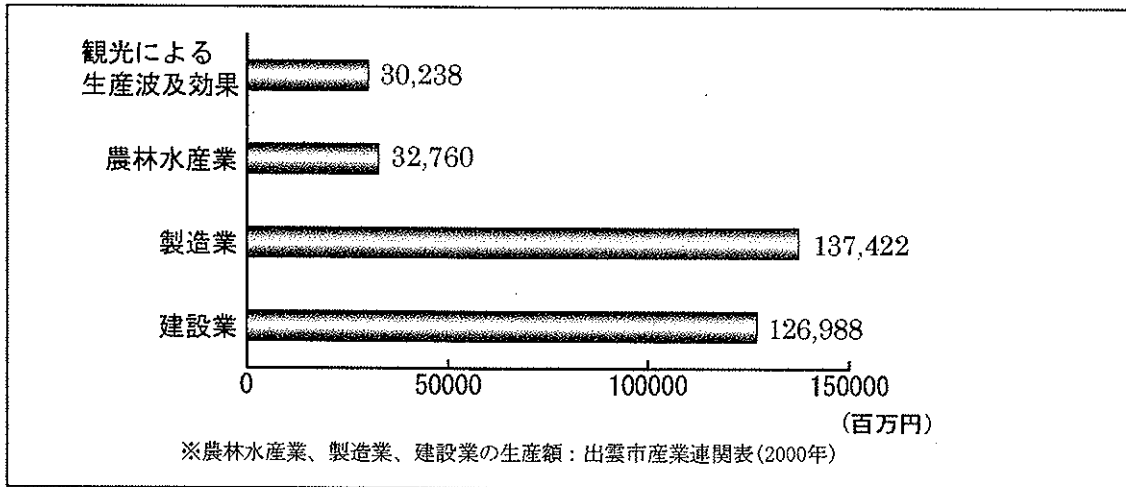
②地域別(県外)の移動手段別割合(推計)



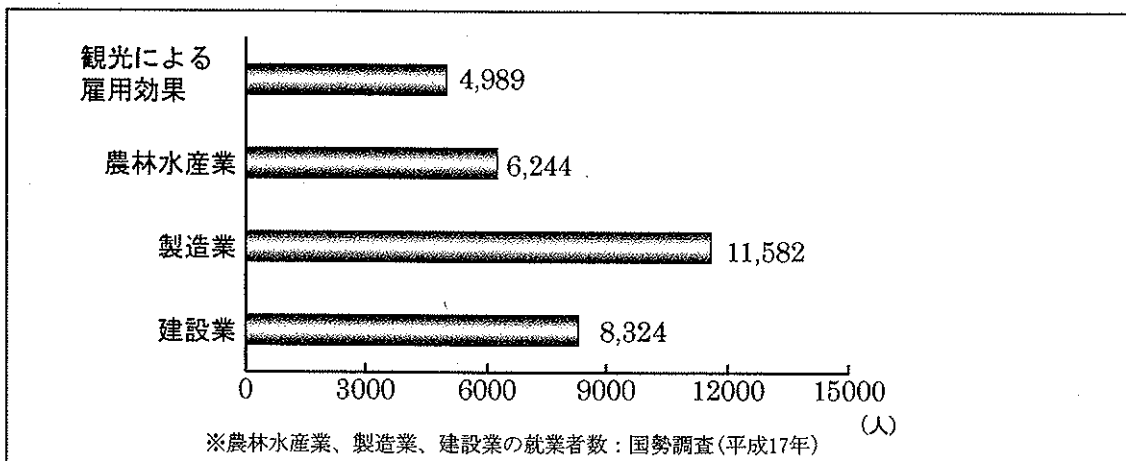
＜資料：島根県観光動態調査 (H18) より推計＞

## ■現在の出雲市観光の経済波及効果

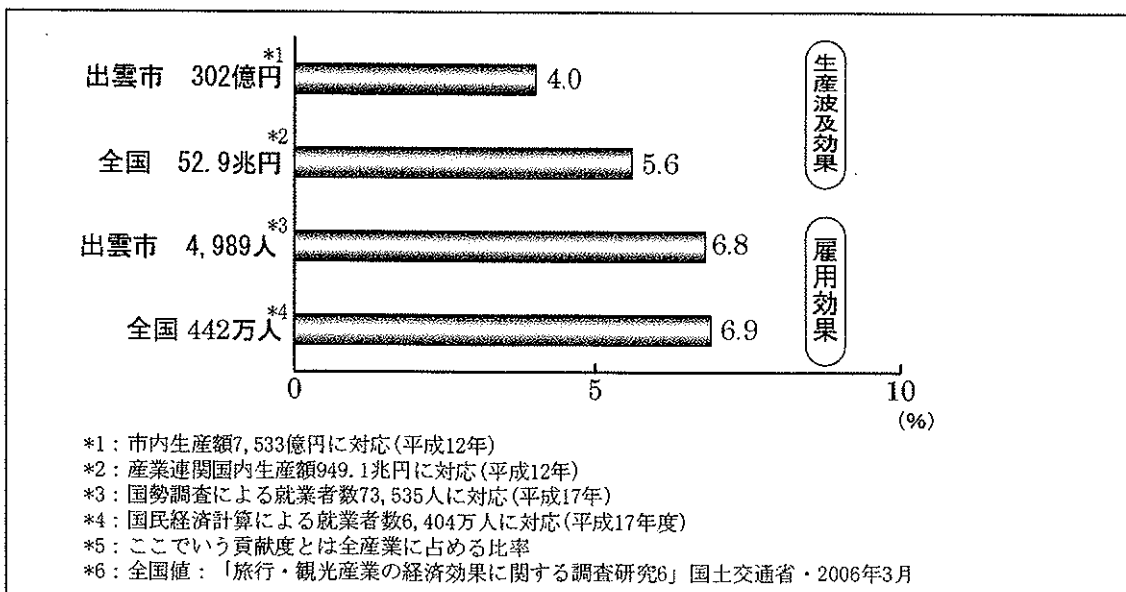
### ○生産波及効果と他産業生産額との比較



### ○雇用効果と他産業雇用者数との比較



### ○経済への貢献度





#### 4. 歩道未設置の国県道の存在

本市の中心部を通過する国道9号において、片側にしか歩道が設置されていない区間があります。

また、本市平田地域内の国道431号、同佐田地域内の国道184号でも、片側歩道のうえに、その歩道が一部未整備で分断された箇所が存在し危険な状況です。

幹線となる県道においても、自動車優先の道路形態で歩道未設置のものが多数あります。

#### 【※歩道がなく危険な県道出雲三刀屋線】



4. 高齢者等の歩行や学生の通学など、車通行以外で道路を利用する際の安全・安心を確保するため、歩車道分離の促進が喫緊の課題となっています。

#### 【※歩道のない国道】



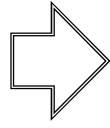
|                                                                                                                                            |                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>5. 生活道路の整備</b></p> <p>地域住民の生活に密着した生活道路に対して、歩行者の安全確保や集落の防災機能向上のための歩道設置や狭隘な幅員の改善等が多数要望されています。また、生活道路の維持管理費は、年々増加しています。</p>             | <p>5. 本市では、交通の利便性や快適な住環境を創出するため、生活に密着した道路を主体に、歩道整備を含む拡幅改良や側溝、舗装の改良を進めています。今後、限られた財源のなかで、必要な改良等の継続実施や維持管理費の増加が課題となっています。</p> <p>(※改良事業例：P20～22)</p> |
| <p><b>6. 中心市街地の衰退</b></p> <p>本市の中心市街地には、一方通行を余儀なくされるほど狭小な幅員の道路が多く存在しています。また駐車場が不足していることもあり、郊外的大型店舗へ人が流れたことから、中心商店街の賑わいが薄れ、空洞化が進行しています。</p> | <p>6. まちなか居住を実現するため「歩いて暮らせる街づくり」を目指し、バスなどの公共交通機関のルートとなり、また防災上の避難路としての機能も有する街路の早期整備と中心商店街の活性化を図る駐車場整備への支援などの一体的な取り組みが課題となっています。</p>                 |



# 出雲くにびき海岸沿岸集落の防災機能を高める道づくり

## ①地域の課題

- ・出雲くにびき海岸地域には密集集落が点在
- ・地域の防災機能の向上及び日常の交通機能の強化、歩行者の安全確保



## ②課題への取り組み

- ・消防署とのアクセス道路の整備による緊急自動車の到達時間短縮
- ・集落内の狭隘道路の拡幅、改良による緊急大型自動車進入可能域の拡大

出雲くにびき海岸沿岸集落は漁業を生業としていたこともあり、海岸線付近に家が立ち並んでいます。

地区内には幅の狭い道路しかなく、複雑に入り組んでいるため、日常生活はもとより、緊急時の対応に不安があります。



### ③指標の達成状況

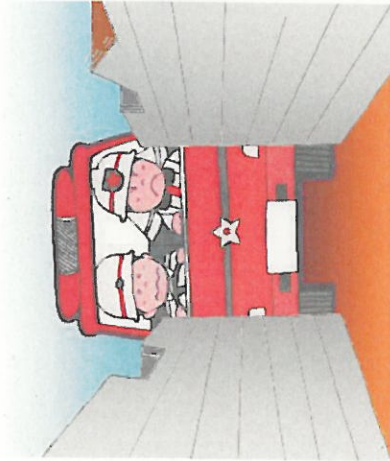
| 指標 | 大型消防車による消火初動体制区域の拡大                 |  |  |  |
|----|-------------------------------------|--|--|--|
| 算定 | 幅員5m以上の道路から140m以内の戸数／集落の全戸数×100 (%) |  |  |  |

| 全体 | 当初現況値           | 達成状況            | 目標値           |
|----|-----------------|-----------------|---------------|
|    | (H17当初)<br>72.6 | (H19末)<br>81.3% | (H19末)<br>80% |

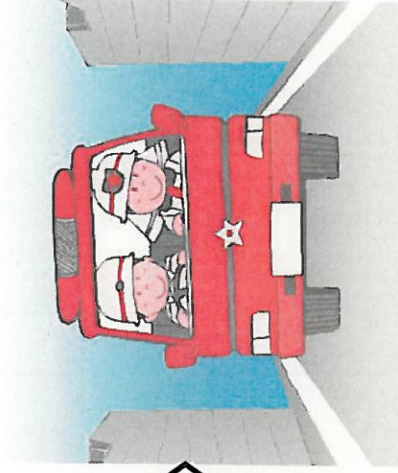
  

| 主要素事業   |                    |                    |  |
|---------|--------------------|--------------------|--|
| 路線      | 当初現況値              | 達成状況               |  |
| 長浜357号線 | 314/410<br>76.6%   | 399/410<br>97.3%   |  |
| 大池線     | 728/1,026<br>71.0% | 769/1,026<br>75.0% |  |

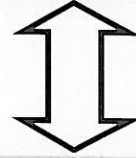
上段：幅員5m以上の道路から140m以内の戸数／集落の全戸数、下段：達成率



消防車の進入できない道路が多かった



道路拡幅により、消防車の進入可能エリアが広がった



【長浜357号線エリア】

海岸線付近を通ること集落の全てを消火エリアとすることができました。また、複雑に入り組んだ道路への進入が回避できるため、緊急車両の到達時間が短縮できます。

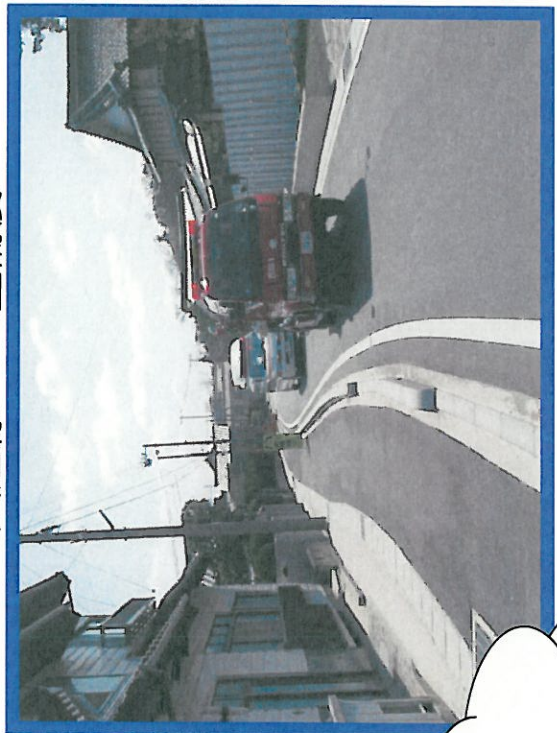


#### ④事業効果の発現状況

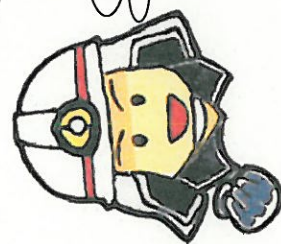
大池線 <整備前>



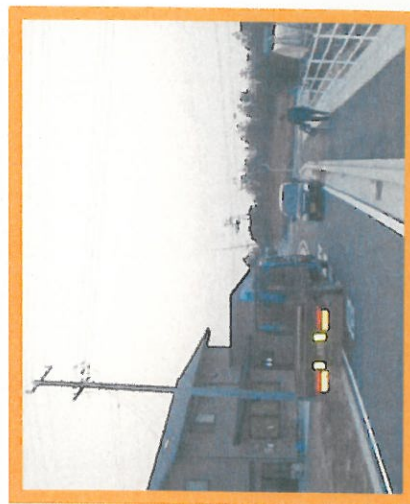
大池線 <整備後>



住宅が密集する中、道路は狭く、緊急大型車両は入れない状態でした。道路の拡幅と歩道の整備により、大型消防車の初動体制が確保できました。合わせて、歩行者の安全や生活環境が向上しました。



歩道ができて子供たちも安心して通行できるようになりました。写真の向こう側には日本海に沈む夕日が見えます。



長浜357号線の完成区間

3. 地域の目指すべき将来像

島根県出雲市

国を挙げた行財政改革や市町村合併の推進など、地方自治体を取り巻く環境が大きく変わる中、これからの『出雲市』は、国への依存から脱却し、自ら選択し、自ら行動する自主自立したまちづくりを実現していかなければならないと考えています。

そのためには、激しい地域間競争を勝ち抜く“産業の力”“都市の力”“都市の力”を培っていくことが必要です。道路は、これら“力”の基盤となるものであり、目指すべき本市の将来像において、道路のあるべき姿を次のように描いています。

■“産業の力”

1. 豊富な農林水産物を、早く新鮮なうちに大消費地等へ輸送できる高速道路ネットワークや地域間広域幹線ネットワークの形成

2. 医療、福祉、IT 関連、新エネルギー、研究開発型企業など、新たな発展が期待できる企業の集積を可能とする高速道路ネットワークの形成

3. 本市の豊かな歴史・文化資源、自然資源を最大限に生かした、観光交流人口 1000 万人の神話観光大国の実現を可能とする高速道路ネットワークや地域間広域幹線ネットワークの形成

4. 上記 3 に関連し、市内の文化・観光施設を結び、安全で快適な市内観光ネットワーク（道路網）の形成

■“都市の力”

5. ホテル・マンションの立地促進、新規創業の誘導や専門店街化を推進し、中心市街地に人を集め賑わいを創出できる、よりグレードの高いビジネス街の確立を可能とする街路網の形成

6. 迅速な防災、消防・救急に対応できる道路網の形成

7. 県内最大の高度な医療機関群を生かし、保健、医療、福祉の相互連携を図る地域医療機関等ネットワークを可能にする道路網の形成

8. 少子高齢化社会において、安全・安心で美しく暮らしやすい環境を提供できる生活道路の存在

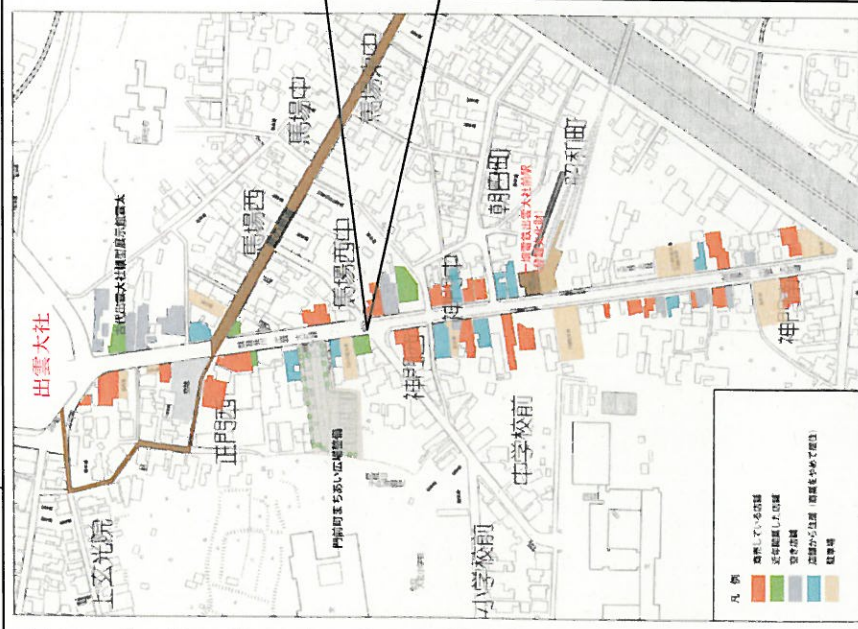


今後の道路行政についての意見・提案

4. 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

島根県出雲市

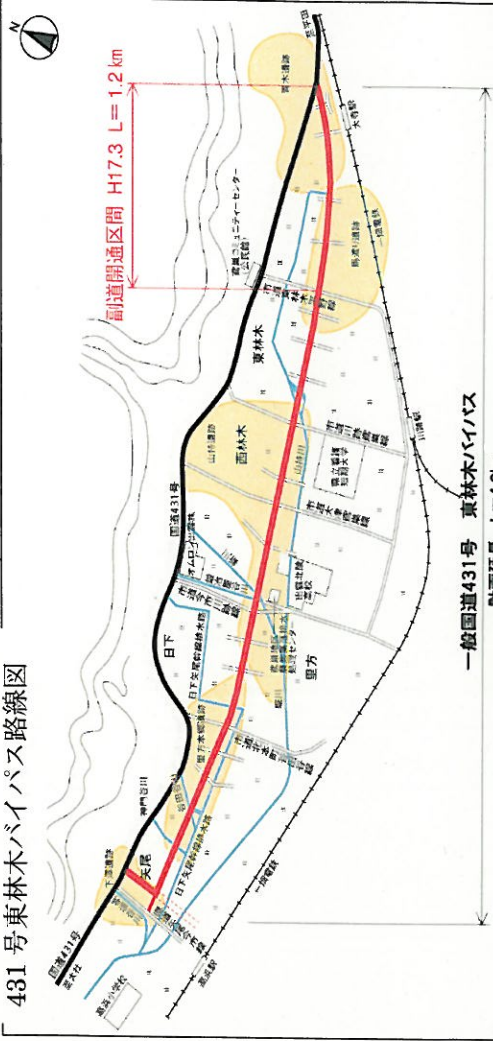
| ○重点事項                        | ○代表事例                                                                                                                                                        | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                  | ○その他                 |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| <p>1. 産業・観光の振興による地域活力の向上</p> | <p>(1) 一般県道大社立久恵線の改良整備</p> <p>(2) 出雲大社の門前町の整備</p> <p>《※大社門前町の空き店舗図》</p>  | <p>須佐神社、立久恵峡と出雲大社、石見銀山など、広域的な観光地連携の強化</p> <p>出雲大社の門前町である神門通りの歩行空間の確保と景観形成（松並木の保全、電線類地中化など）、区画整理事業などによるまちづくりにより、年間200万人を超える出雲大社参拝者の多くが門前町を周遊し、地域活性化につながる。</p> | <p>・H22年3月供用開始予定</p> |
|                              |                                                                                                                                                              |  <p>《人通りのない門前町（※出雲大社へ向かって）》</p>                                           |                      |

■ 大社門前町の歩道の状況



出雲大社の大鳥居に向かって、歩道が未整備の状態



|                       |                                                                                                                                                                                 |                                                              |                            |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------|
| <p>2. 都市交通の利便性の向上</p> | <p>(1) 国道 9 号出雲バイパスの4車線化</p>  <p>※2車線の国道9号バイパス</p>                                           | <p>①慢性的な中心市街地の混雑の解消<br/>②市内通過時間の短縮<br/>③渋滞緩和による二酸化炭素削減効果</p> | <p>・H19年12月に2車線で暫定供用開始</p> |
| <p>3. 総合的な交通安全対策</p>  | <p>(1)一般国道431号東林木バイパスの整備</p> <p>431号東林木バイパス路線図</p>  <p>一般国道431号 東林木バイパス<br/>計画延長 L=4.2km</p> | <p>①宍道湖・中海圏城市町村との連携強化<br/>②市街地や出雲大社への交通渋滞の緩和</p>             |                            |

|                         |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 安全で安心な住民生活の確保</p> | <p>(2)国道431号線、184号線の改良整備</p>  | <p>歩道整備による通学や高齢者の歩行時の安全確保</p> <p>《※歩道が途切れている国道431号線》</p>  <p>災害時等における国道184号線の代替ルートの確保</p>  <p>《※H18.7豪雨災害で被害を受けた184号線》</p> |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|  |                                                     |                                                                                         |  |
|--|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  | <p>(2) 国道 9 号出雲バイパスの 4 車線化</p> <p>(3) ドクターヘリの導入</p> | <p>県立中央病院へのアクセス道路として<br/>広域的な救急医療活動が充実</p> <p>交通渋滞や災害時の交通規制など、道路事情に左右されない迅速な救急救命の実施</p> |  |
|--|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--|